

次期教育振興基本計画策定検討委員会

【 第 4 回 】

平成30年8月31日（金）

10時～12時

教育委員会会議室

議事次第

1 開会

2 議事録の確認

・・・資料1

3 議題

(1) 評価指標(案)たたき台について

・・・資料2, 3

4 閉会

事務連絡

評価指標（案）検討資料

1 評価指標の状況（平成 29 年度）

- ・ 目標値を達成できた項目は 11 項目で全体の 19.6%である。
- ・ 未達成ではあるが、目標値に対する現状値が 90%以上のものは 55.4%である。

(単位:項目)

	達成率	目標値に達している	目標値に近づいている	策定時と同程度で推移	策定時より低下している	合計
達成	100%以上	11				11(19.6%)
未達成	90～ 99%		24	2	※ ¹ 5	31(55.4%)
	80～ 89%		7	3		10(17.8%)
	70～ 79%		※ ³ 2			2(3.6%)
	60～ 69%		1		※ ² 1	2(3.6%)
合計		11 (19.6%)	34 (60.7%)	5 (8.9%)	6 (10.7%)	56 (100%)

<※ 1 策定時より低下している項目（達成率 90%以上）>

- ・ 「朝食を摂食の状況」小 6 児童，保護者の数値が低下
- ・ 「地域の人材や施設などを生かした教育を工夫しているか」教員の数値が低下
- ・ 「PTA活動が積極的になされているか」教員の数値が低下
- ・ 「登下校時等に地域の人たちは子どもたちへの声かけをしているか」教員の数値が低下

<※ 2 策定時より低下している項目（達成率 60～69%）>

- ・ 「地域の人材や施設などを生かした教育を工夫しているか」保護者の数値が低下

<※ 3 目標値に近づいているが達成度が低い項目（達成率 79%以下）>

- ・ 「学校ホームページなどで学校情報を積極的に公開しているか」保護者の数値
- ・ 「教育委員会が学校に発信する調査・報告文書の数」教育委員会の数値
- ・ 「志願倍率が公立高等学校平均倍率を下回っている学科数」市立高等学校の数値

2 評価指標及びその調査における課題

- ・ 施策に対する指標としてそぐわないものがあつた。
- ・ 調査対象者からみて指標の設問が、わかりにくいものがあつた。
- ・ 目標値として妥当でないものがあつた。
- ・ 指標としていた設問の調査が継続的に行われなかったものがあつた。
- ・ 調査対象者が否定的意見を選択した際に、その理由を記載させていなかった。
- ・ 指標以外にも多くの項目を調査しており、調査対象者への負担となっている。

3 次の評価指標の設定及び調査にあたっての考え方

- ・ 現行計画同様、施策毎に評価指標を設定。
- ・ 目標値の妥当性や、測定の継続性が確保でき、当該施策に対する適切な評価指標を設定。
- ・ 否定的意見を選択時にその理由や改善策を吸い上げることができる調査方法を検討。
- ・ 調査対象者の負担軽減のため調査項目の精選。

<参考> 主な調査の概要

I 全国学力・学習状況調査

実施主体：文部科学省

調査対象：小学校6年生，中学校3年生，学校長

実施頻度：毎年

概要：全国的な児童生徒の学力や学習状況の把握・分析，教育施策の成果と課題の検証，そしてその改善等を目的として実施。福岡市では，市内の全小学校，中学校，特別支援学校において実施。

II 福岡市生活習慣・学習定着度調査

実施主体：福岡市教育委員会

調査対象：小学校4年生，5年生，中学校1年生，2年生

実施頻度：毎年

概要：本市独自の調査で，児童生徒の実態や課題を的確に把握し，児童生徒自身の学習や生活改善に役立てることを目的に，市内の全小学校，中学校，特別支援学校において実施。

III 福岡市教育意識調査

実施主体：福岡市教育委員会

調査対象：教員，保護者，市民

実施年度：平成20年度，24年度，27年度，29年度

概要：「新しいふくおかの教育計画」の各施策の実施効果を検証するための抽出調査。

- 教員（計 約990名(H29)）
 - ・市内の全小・中・特別支援学校（保護者対象実施校を除く）
 - ・1実施校につき，校長が選任した5名を対象
- 保護者（計 約650名(H29)）
 - ・小学校10校，中学校10校，特別支援学校2校 ※原則，同じ学校で実施
 - ・小学校6年生，中学校3年生，1実施校につき1学級を対象に実施
 - ・特別支援学校は，1実施校につき20名程度に実施
- 市民（約580名(H29)）
 - ・市長室広聴課が実施する市政アンケート調査協力員に対して，市政アンケート中で実施

IV 福岡市教育委員会調査

実施主体：福岡市教育委員会の各課

概要：各事業の推進において実施している個別の調査の総称。

評価指標(案)たたき台

■ 目標値を達成

■ 目標値に近づいている

■ 同程度で推移

■ 策定時から低下

資料3

現行計画の評価指標					
施策	指標名(調査名)/概要	対象	策定時	現状値	目標値
			(H20)	(H29)	(H30)
1-① 確かな学力の向上	基礎基本となる学力の向上の取組の満足度(教育意識調査)	保護者	67.9%	69.8%	75%
	「基礎基本となる学力の向上に取り組んでいる」という設問に対し、「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」と回答した、保護者、教員の割合	教員	95.6%	95.3%	100%
	児童生徒の授業内容に関する理解度(全国学力・学習状況調査)	児童生徒	71.4%	77.5%	78%
「国語や算数・数学の授業の内容がよくわかるか」という設問に対し、「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」と回答した、児童生徒の割合					
1-② 豊かな心の育成	児童生徒の思いやりの状況(全国学力・学習状況調査)	小6児童	92.7%	93.8% (H27)	97%
	「人の気持ちがわかる人間になりたいと思いますか」という設問に対し、「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」と回答した児童・生徒の割合	中3生徒	93.5%	95.9% (H27)	97%
	児童生徒の規範意識の状況(全国学力・学習状況調査)	小6児童	86.3%	93.2%	95%
	「学校のきまりを守っている」という設問に対し、「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」と回答した児童生徒の割合	中3生徒	86.3%	94.5%	95%
1-⑥ 人権教育の推進	児童生徒の自尊感情の状況(全国学力・学習状況調査)	小6児童	75.3%	79.2%	85%
	「自分にはよいところがあると思う」の設問に対し、「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」と回答した児童生徒の割合	中3生徒	61.2%	73.5%	80%
	児童生徒の人権意識の状況(全国学力・学習状況調査)	小6児童	80.0%	85.6% ※前期実施計画の目標は90.0%	95% ※後期実施計画の目標は「友達」に変更
	「ひとが困っているときに助けています」の設問に対し、「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」と回答した児童生徒の割合	中3生徒	73.3%	85.1% ※前期実施計画の目標は83.0%	95% ※後期実施計画の目標は「友達」に変更
	人権教育の視点を取り入れた授業の取組状況(教育意識調査)	教員	83.7%	86.7%	100%
あなたの学校では「人権教育の視点を取り入れられた授業が行われている」という設問に対し「とても当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」と回答した教員の割合					

次期計画の評価指標(案)					
施策	指標名(調査名)/概要	対象	現状値	目標値	
			2017(H29)	2024	
1 確かな学力の向上	新規	児童生徒の学力の状況(全国学力・学習状況調査)	小6児童	国語:55.3% 算数:54.0%	国語:65% 算数:65%
		国語、算数・数学の正答率が、全国平均正答率を上回っている児童生徒の割合	中3生徒	国語:62.1% 数学:48.7%	国語:70% 数学:65%
	変更	児童生徒の授業内容に関する理解度(生活習慣・学習定着度調査)	小5児童	国語:78.4% 算数:81.2%	国語:87% 算数:88%
			中2生徒	国語:77.1% 数学:72.1%	国語:82% 数学:80%
2 豊かな人権感覚と道徳性の育成	継続	児童生徒の規範意識の状況(全国学力・学習状況調査)	小6児童	93.2%	97%
		「学校のきまりを守っている」という設問に対し、「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」と回答した児童生徒の割合	中3生徒	94.5%	97%
	変更	児童生徒の自尊感情の状況(生活習慣・学習定着度調査)	小5児童	80.5%	85%
		「自分にはよいところがあると思う」の設問に対し、「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」と回答した児童生徒の割合	中2生徒	77.1%	80%
	変更	児童生徒の思いやりや人権意識の状況(生活習慣・学習定着度調査)	小5児童	83.7%	90%
		「人が困っているときに助けています」の設問に対し、「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」と回答した児童生徒の割合	中2生徒	84.6%	90%
継続	人権教育の視点を取り入れた授業の取組状況(教育意識調査)	教員	86.7%	100%	

評価指標(案)たたき台

■ 目標値を達成

■ 目標値に近づいている

■ 同程度で推移

■ 策定時から低下

資料3

現行計画の評価指標						次期計画の評価指標(案)					
施策	指標名(調査名)/概要	対象	策定時	現状値	目標値	施策	指標名(調査名)/概要	対象	現状値	目標値	
			(H20)	(H29)	(H30)				2017(H29)	2024	
1-③ 健やかな体の育成	児童生徒の体力運動能力の状況(体力・運動能力調査)	小5男子	48.9	50.6	52	3 健やかな体の育成	児童生徒の体力運動能力の状況(体力・運動能力調査)	小5男子	50.6	52	
		小5女子	47.8	49.1	52			小5女子	49.1	52	
	総合得点の全国平均を50とした場合の福岡市の児童生徒の値	中2男子	48.0	50.5	52		継続	総合得点の全国平均を50とした場合の福岡市の児童生徒の値	中2男子	50.5	52
		中2女子	47.5	49.9	52				中2女子	49.9	52
	新体力テストの実施状況	小学校	19.0%	100%	100%		新規	児童生徒の運動習慣の状況(体力・運動能力調査)	小5児童	9.9%	8%
	市内で「新体力テスト」を完全実施している学校の割合		92.2%	91.7%	100%			1週間の総運動時間0分～60分未満の児童生徒の割合	中2生徒	15.1%	13%
	朝食摂食の状況(全国学力・学習状況調査)	小6児童	95.1%	93.7%	100%		変更	朝食欠食の状況(全国学力・学習状況調査)	小6児童	6.2%	5%
「朝食を毎日食べていますか」という設問に対し、「食べている」「どちらかといえば食べている」と回答した児童・生徒の割合	中3生徒	92.2%	91.7%	100%	「朝食を毎日食べていますか」という設問に対して、「あまりしていない」「全くしていない」と回答した児童生徒の割合	中3生徒		8.3%	5%		
朝食摂食の状況(教育意識調査)	保護者	94.4%	92.5%	100%	新規	栄養バランスに配慮した食生活の実践状況(食生活アンケート(3年に1度の調査))	小5児童	52.3%(H28)	60%		
「子どもに毎日しっかりと朝食を食べさせていますか」という設問に対し、「当てはまる」「どちらかと言えば当てはまる」と回答した保護者の割合		92.5%	92.5%	100%		「栄養のバランスを考えて食べる」という設問に対し、「はい」と答えた児童生徒の割合	中2生徒	39.6%(H28)	50%		
1-⑦ 援不・登校のめ子ども未然への防止	不登校児童生徒数の出現状況	児童生徒	1,263人	801人(速報値)	822人	4 いじめ・不登校等の未然防止・早期対応	新規	いじめに対する意識(全国学力・学習状況調査)	児童生徒	94.6%	97%
	「不登校児童生徒」の人数		25.0%(H19)	47.5%(速報値)	50%			「いじめはどんな理由があってもいけないことだと思いますか」という設問に対して、「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と回答した小6と中3の児童生徒の割合			
	不登校児童生徒の学校復帰の状況(福岡市教育委員会調査)	児童	21.6%(H19)	49.6%(速報値)	40%		継続	不登校児童生徒数の出現状況(福岡市教育委員会調査)	児童生徒	801人	720人
	「不登校児童生徒」のうち「指導の結果登校する、またはできるようになった児童生徒」の割合	生徒				変更	不登校児童生徒の復帰率(福岡市教育委員会調査)	児童生徒	46.4%	65%	

評価指標(案)たたき台

■ 目標値を達成

■ 目標値に近づいている

■ 同程度で推移

■ 策定時から低下

資料3

現行計画の評価指標					
施策	指標名(調査名)/概要	対象	策定時	現状値	目標値
			(H20)	(H29)	(H30)
1-⑧ 特別支援教育の推進	校内支援体制の機能化(福岡市特別支援教育推進プランに係るアンケート調査)	校長	76.9% (H24)	86.3%	90%
	「特別支援教育コーディネーターの役割と機能についてすべての職員が理解し、コーディネーターを中心とした校内支援体制が有効に機能している」と回答したすべての校種の校長の割合				
	校内支援委員会の設置と活動状況(教育委員会調査)	教員	2.4	4.6	4.5
	福岡市特別支援連絡協議会の特別支援教育推進状況調査において「校内支援委員会の設置と活動状況」という設問に対する、教員の5段階評価の結果				
自立と社会参加の状況(福岡市教育委員会調査)	高等部卒業生	27.8%	35.1%	30%	
福岡市立知的障がい特別支援学校高等部卒業生の就労率					
1-⑤ 市立高等学校の活性化	志願倍率の状況(福岡市教育委員会調査)	—	7学科	5学科	0学科
	志願倍率が公立高等学校平均倍率を下回っている学科数				
	進路希望の実現に対する満足度(福岡市教育委員会調査)	高1～3生徒	73.6%	87.0%	95%
「学校の進路指導等が進路目標の達成に役立っているか」という設問に対し、「とてもそう思う」「ややそう思う」と回答した生徒の割合					
1-④ 福岡と岡国の特殊教育を推進した教育	地域の人材や施設を生かした教育の推進状況(教育意識調査)	教員	73.6%	72.3%	80%
	「地域の人材や施設などを生かした教育を工夫しているか」という設問に対し、「とても当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」と回答した教員、保護者の割合	保護者	52.4%	45.9%	70%
	生徒の「英語の有用性」の状況(生活習慣・学習定着度調査)	中1 中3 生徒	90.0% (H24)	92.3% (H27)	95%
「英語は、将来、社会に出たときに役に立つと思うか」という設問に対し「はい」「どちらかといえばはい」と回答した生徒の割合					

次期計画の評価指標(案)					
施策	指標名(調査名)/概要	対象	現状値	目標値	
			2017(H29)	2024	
5 特別支援教育の推進	新規 専門的かつ連続性のある指導・支援の展開(校内支援体制推進点検シート)	全校種の校長	87.5%	95%	
	「個別の教育支援計画及び個別の指導計画に沿った支援が行われるとともに、適切に引き継ぎができてきているか」の設問に対し、「はい」と回答した割合				
	新規 チームとしての組織的な支援体制の確立(校内支援体制推進点検シート)	全校種の校長	84.5%	95%	
「校内支援委員会で具体的な支援方法が決定されているか」の設問に対し、「はい」と回答した割合					
変更	専門的かつ連続性のある指導・支援の展開(福岡市教育委員会調査)	高等部卒業生	96.4%	100%	
	知的障がい特別支援学校高等部3年生で就労を希望している生徒(5月時点)の卒業時の就労率				
6 魅力ある高校教育の推進	変更 志願倍率の状況(福岡市教育委員会調査)	—	5学科 29年度実施 30年度入学	0学科	
継続	進路希望の実現に対する満足度(進路実現に対する満足度についてのアンケート)	高1～3生徒	87.0%	95%	
	「進路指導は、進路目標の達成に役立っているか」という設問に対して、「とてもそう思う」「ややそう思う」と回答した生徒の割合				
7 キグヤロリアバ教育社会を推進	新規 児童生徒の将来の夢や目標の状況(全国学力・学習状況調査)	小6児童	86.1%	89%	
	新規 「将来の夢や目標をもっていますか」の設問に対して、「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」と回答した児童生徒の割合	中3生徒	73.6%	75%	
		新規 生徒の英語能力の状況(英検IBA)	中3生徒	66.2%	75%
英検3級相当以上の中学3年生の割合					

評価指標(案)たたき台

■ 目標値を達成

■ 目標値に近づいている

■ 同程度で推移

■ 策定時から低下

資料3

現行計画の評価指標					
施策	指標名(調査名)/概要	対象	策定時	現状値	目標値
			(H20)	(H29)	(H30)
2-① 組織学 力校 の 強組	学校の教育目標やその達成に向けた方策に対する取組状況(全国学力・学習状況調査)	小学校長	94.6%	99.3%	100%
	「学校の教育目標やその達成に向けた方策について、全教職員の間で共有し、取組にあたっていますか」との設問に対し「よくしている」「どちらかといえばしている」と回答した校長の割合	中学校長	90.0%	100%	100%
2-② 学校と家庭・地域の連携の強化	学校情報の公開状況(教育意識調査)	教員	65.4%	74.1%	80%
	「学校ホームページなどで学校情報を積極的に公開しているか」の設問に対し、「とてもよく当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」と回答した教員、保護者の割合	保護者	40.3%	47.4%	60%
	学校と家庭・地域の連携の状況(教育意識調査)	教員	86.6%	84.8%	90%
	「PTA活動が積極的になされているか」の設問に対し、「とても当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」と回答した教員、保護者の割合	保護者	70.5%	71.1%	80%
	懇談会などの開催状況(全国学力・学習状況調査)	小学校	66.3% (H24)	74.5%	85%
	「保護者から意見や要望を聞くために、学校として懇談会の開催やアンケート調査を前年度にどのくらい実施しましたか」の設問に対し、「年間に3回以上実施した」と回答した校長の割合	中学校	70.0% (H24)	78.7%	85%

次期計画の評価指標(案)					
施策	指標名(調査名)/概要	対象	現状値	目標値	
			2017(H29)	2024	
8 読書活動の推進	新規 読書量調査(福岡市教育委員会調査, 毎年11月の1か月間を調査)	児童	15.8冊	17冊	
		生徒	2.8冊	4.5冊	
	新規 教科との関連を図る取組み	小学校長	85%	90%	
		中学校長	42%	90%	
9 力にチのよ強るム化組学校	新規 学校が組織として対応すべき課題等についての共有化の取組状況(全国学力・学習状況調査)	小学校長	97.2%	100%	
		中学校長	95.8%	100%	
10 携強校と家庭・地域の連	継続 学校情報の公開状況(教育意識調査)	教員	74.1%	80%	
		保護者	47.4%	60%	
	変更 地域人材の活用状況(教育意識調査)	教員	72.3%	80%	

評価指標(案)たたき台

■ 目標値を達成

■ 目標値に近づいている

■ 同程度で推移

■ 策定時から低下

資料3

現行計画の評価指標					
施策	指標名(調査名)/概要	対象	策定時	現状値	目標値
			(H20)	(H29)	(H30)
3-① 材優資 の秀質 確なあ 保人る	教員採用試験の受験者数の状況(福岡市教育委員会調査)	—	1,828人	3,154人 ※前期実施計画の目標は受験者数2,000人	6.5倍 ※後期実施計画の目標は受験倍率に変更
	教員採用試験の受験者数の確保				
3-② 教職員の 資質能力の 向上・活 性化	研修の波及効果(全国学力・学習状況調査)	小学校	84.3%	89.6%	95%
	「教職員は、校内外の研修や研修会に参加し、その成果を教育活動に積極的に反映させているか」の設問に対し、「よくしている」「どちらかといえばしている」と回答した校長の割合	中学校	62.9%	85.7%	70%
	研修の波及効果(福岡市教育委員会調査)	校長	79.2%	80.9%	87.5%
	研修校追跡調査で「達成された」と回答した校長、教員の割合	教員	75.0%	74.1%	87.5%
	研修参加への環境づくり(福岡市教育委員会調査)	利用者数	75,469人 (H24)	87,470人	80,000人
	教育センターの利用者数及び利用件数	利用件数	1,542件 (H24)	1,939件	1,600件
	精神疾患による病気休職者の状況(福岡市教育委員会調査)	—	0.85% (H19)	0.70%	0.59%
	精神性疾患による病気休職者の教員に占める割合				
5-① 境きぶ安 のるこ心 整教とし 備育がて 環で学	非構造部材の耐震化(福岡市教育委員会調査)	—	0% (H24)	100%	100%
	体育館など吊り天井の耐震性が確保されている割合				

次期計画の評価指標(案)					
施策	指標名(調査名)/概要	対象	現状値	目標値	
			2017(H29)	2024	
11 材優資 の秀質 確なあ 保人る	教員採用試験の受験者数の状況(福岡市教育委員会調査)	受験者	3.4倍	6.5倍	
	教員採用試験の競争率(受験者数÷合格者数)の確保				
12 教職員の 資質・能力の 向上・活 性化	研修の効果(文科省調査)	教員	62.3%	80%	
	「授業中にICTを活用して指導する能力」の設問に対し、「わりにできる」「ややできる」と回答した教員の割合				
	研修の効果(全国学力・学習状況調査)	小学校長	89.6%	95%	
	「教職員は、校内外の研修や研究会に参加し、その成果を教育活動に積極的に反映させているか」の設問に対し、「よくしている」「どちらかといえばしている」と回答した校長の割合	中学校長	85.7%	90%	
	精神疾患による病気休職者の状況(福岡市教育委員会調査)	教職員	0.7%	0.45%	
精神疾患による病気休職者の教職員に占める割合					
13 のイコ 推アン 進ンプ スラ	倫理意識の状況(コンプライアンス達成度評価チェックシート)	教職員	65.6% (H30)	95%	
	「私は、公務員倫理や服務義務について、十分に理解している」の設問に対し、4段階評価のうち最も高い「そう思う」と回答した教職員の割合				
14 境きぶ安 のるこ心 整教とし 備育がて 環で学	トイレの洋式化の推進(福岡市教育委員会調査)	学校施設	46.5%	精査中	
	小・中学校におけるトイレの洋式化率				

評価指標(案)たたき台

■ 目標値を達成

■ 目標値に近づいている

■ 同程度で推移

■ 策定時から低下

資料3

現行計画の評価指標						次期計画の評価指標(案)						
施策	指標名(調査名)/概要	対象	策定時	現状値	目標値	施策	指標名(調査名)/概要	対象	現状値	目標値		
			(H20)	(H29)	(H30)				2017(H29)	2024		
5-② う教 環員 境が づ子 くり ども と向 き合	教員が子どもと向き合う時間の確保の状況(教育意識調査)	教員	44.0%	54.1%	60%	→	15 う教 環員 境が づ子 くり ども と向 き合	継続	教員が子どもと向き合う時間の確保の状況(教育意識調査)	教員	54.1%	65%
	「教員が子どもと接する時間が確保されているか」という設問に対し「とても当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」と回答した教員の割合											
	調査・報告文書(計画)の状況(福岡市教育委員会調査)	—	264件(H24)	251件	185件(3割減)				調査・報告文書の状況(福岡市教育委員会調査)	—	251件	226件(1割減)
教育委員会が学校に発信する調査・報告文書(計画)の数												
4-① た子 取ど 組の の安 推全 進確 保に 向け	子どもを地域ではぐくむという意識の状況(教育意識調査)	教員	85.2%	84.1%	90%	→	16 た子 取ど 組の の安 推全 進確 保に 向け	変更	子どもを地域ではぐくむという意識の状況(教育意識調査)	教員	84.1%	90%
	「地域の人たちは、子どもたちの登下校時や道であったときに声かけをしているか」の設問に対し、「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」と回答した教員、保護者、市民の割合	保護者	77.2%	78.9%	90%				保護者	78.9%	90%	
		市民	49.0%	49.4%	60%				保護者	80.7%	90%	
	子どもの携帯電話の使用に関する保護者の意識(教育意識調査)	—	78.1%(H24)	80.7%	90%				子どもの携帯電話の使用に関する保護者の意識(教育意識調査)	保護者	80.7%	90%
「子どもの携帯電話の使用に際して、家庭内でルールを設けている」の設問に対し、「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」と回答した保護者の割合												
4-② の家 推庭 進・ 地域 等 にお ける 教育	基本的な生活習慣の育成に対する意識(教育意識調査)	保護者	84.1%	87.7%	95%	→	17 のに 家 推庭 進 け・ る地 域 教育 等	継続	基本的な生活習慣の育成に対する意識(教育意識調査)	保護者	87.7%	95%
	「家庭で子どもに対して、早寝早起きなどの規則正しい生活をさせているか」という設問に対し「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」と回答した保護者の割合											
	子どもを地域ではぐくむという意識(市政アンケート)	市民	54.8%	58.2%	65%				あなたのお住まいの地域の人たちの行動について「地域の安全パトロールや青少年の健全育成に取り組んでいる」の設問に対し、「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」と回答した市民の割合			